高田の風

主体的に学ぶ子に

間もなく3月に入ろうとしています。3月は子どもたちにとって集大成の時です。学校では日常の授業を通して、子どもたちが自分で学ぶことができる「主体的に学ぶ子」を育てたいと願っています。

「クラゲの蛍光タンパク質」でノーベル化学賞を受賞した下村脩さんは次のように話しています。

「おもしろいことをどんどんやりなさい。ただし、むずかしいからとやめたらだめですよ。」「なぜ」「どうして」と、一つのことに心に追究し続けたから言える言葉だと思います。

自分の疑問を追究し続けることは一朝一夕に身につきません。下村さんは「学びの中で、わかる」という喜びの体験をし、「自分で考える」ことの楽しさ・おもしろさを味わってきたからだと思います。

私たち大人は「まだ小さいから」とか、「十分にできないから」とか、「時間がかかるから」とか、「かわいそうだから」という理由で、手を出してしまうことがあります。

教えるべきことは「教え」、考えるべきことは考えるように「育て」、失敗しても大丈夫、あなたならできる、やってごらんと「任せる」ことで、自分から進んで考えたり行動したりする子が育つのだと思います。

自分で考える子は成功体験で大きな自信をもちます。失敗してもすぐに立ち直り、がんばったことを自分で見つけることができます。

どんな時代になろうとも、「主体的に学ぶ」ことが求められます。そんな子どもを育てたいものです。

二分の一成人式

高田小学校では10歳になる4年生で二分の一成人式を行っています。

二分の一成人式とは成人の半分の年齢、10歳を迎えたことを記念する行事です。子どもが自分のこれまでを振り返り、将来の目標を立てることを目的としています。

今年も70名らの子どもたちが迎えました。子どもと保護者が一体となったすばしい式でした。

私は式で4年生に次のような話をしました。

「みなさんは、自分の夢を叶えるためには、どんなことを学習したらいいか、どんな練習や準備をしたらいいか、自分でいろいろ調べて、もうわかっていることと思います。そういう自分の夢を叶えるために必要な学習や練習を、毎日、5分でも10分でもいいですから、忘れないで、ずっと続けていってほしいと思います。

もう一つは『自分の夢は絶対に叶うんだ』と、自分の心で、強く信じ続けてほしいと思います。この二つのことを忘れずに続けていくと、自分の夢が叶う日が、どんどん近づいてきます。

みなさんが、これから大人になるまでの間には、自分が一生懸命努力していても、時には失敗してしまったり、成績が下がってしまったり、誰かから、『あなたなんかに、そんなことできるわけないじゃない。』とか、『そんな大きな夢、あなたなんかに叶えられるわけないじゃない。』なんて言われて、自信をなくしてしまうこともあるかも知れません。でも、自分が一生懸命、努力していたのだったら、いちいち気にしないで、絶対に負けないで下さい。誰に何と言われようと、少なくとも自分だけは、『自分の夢は絶対叶うんだ。』と、強く信じ続けて下さい。」

4年生のこれからの成長を楽しみにしています。

頑張っているよ

第3学期の学校目標の一つが体力の向上です。体力の向上をめざして体育の時間はもちろん昼休みを利用して行っています。その中の一つが縄跳びです。子どもたちは登校してから、中休み、昼休みにも縄跳び板などを使って縄跳びに挑戦しています。その成果は各学年の縄跳び記録会で披露しています。

心元気　夢

子ども像

わくわく
もりもり
きらきら

高田の子